

審議会の概要	
名 称	平成 28 年度向日市地域福祉計画推進委員会
日 時	平成 29 年 3 月 24 日（金）14:00～15:50
場 所	向日市福祉会館 3 階大会議室
出 席 者	（委 員）池田、小田、籠谷、川本、木ノ山、 佐野、拾井、八木、野田、植田 ※欠席：川戸、高山
	（幹 事）水上、坂野、小池、井口、長谷川（和）、長谷川（琢）、木下
	（事務局）小畑、小島
議 長	拾井（委員長）
配布資料	別添のとおり
傍 聴 人	な し
議 事	
1 開 会 拾井委員長挨拶 ・地域福祉の課題は見えないところで進行することもあるため、留意しながら議論していきたいと考える。	
2 （１）第２期向日市地域福祉計画（前期計画）策定後の取組について（平成 28 年度） 【質疑応答・助言等】 ①生活困窮者支援について、主たる相談内容、将来の事業見込、年齢層の特徴、常勤職員数、複合的課題の有無、広報等の状況説明を。 ・就労支援の相談が多い。 ・就労意欲の向上、生活リズムの構築、中間的就労の実施、一般就労の流れである。 ・相談件数 95 件だが、制度周知はまだまだで、実際の件数はもっとあるのではないかと考えている。行政に相談が繋がることが大事。 ・40 歳前後の相談が多い。複合的課題のある方も存在している。 ・周知については、民生委員や市社協との連携も活用しているところ。 ・専門相談員は 2 名（常勤配置） ②自治会の加入促進について ・チラシ配布は非常に有効と考える。 （市民課による配布でたくさんの方に加入していただいた実績あり） ・若い人や良い活動の取り込みが重要。 新しい人が入ると自治会が変わる。それがないと加入率低下は止まらない。 ・その他、住宅開発業者、子育て世代へのアプローチ、年齢が来たら役員は飛ばす、回覧板は名前を書かないと後が続かない、募金は市内の活動に活かさ	

れることの周知が必要等の提案あり。

③生涯学習情報 450 部について、数が適当かどうかよくわからない。

（人口に対して多いのか少ないのか）

- ・ 不足した場合は担当課にて、随時追加印刷する等適切に対応している。

④障がい者の市立体育館使用料について

- ・ 3 年前に障がい者団体の使用について定め、一定の条件に基づき免除する仕組みを創設したところ。

⑤児童虐待通報窓口について、受付体制が厳しく臨機応変に対応できる仕組みが必要と考えるがどうか。

- ・ 虐待通報は家庭児童相談室（3 名）、市役所窓口で受付している状況。
- ・ 家児相は見守り実施もしているため、不在の場合は、1 8 9 に通報してもらうよう周知しているところ。

⑥教育現場での啓発について、手話、性教育を通じた人権学習、福祉施設利用者から話を聞く機会など様々なものが考えられると思うがどうか。

- ・ 福祉施設で職場体験学習が実施されている
- ・ 学校で検討していただく話にはなるが、今後、手話などもやっていきたい。
- ・ 社協事業では、学校での総合学習の時間を活用し、車いす体験、卓球バレー交流、手話、盲導犬使用者の講演、認知症 GH との交流等に取り組んでいる。
- ・ 学校から声かけをお待ちの福祉施設もあり、やる気になってもらっている。

⑦子育てコンシェルジュは、子育て世代包括支援センターにあたるものか

- ・ 貴見のとおりです。

⑧進捗状況について、評価付与の基準は

- ・ 事業所管課の判断で記載しているが、全体としての整理は今後検討する。

2

（2）地域福祉等の推進について

【質疑応答・助言等】

①防災訓練について

- ・ 地域での組織作りが大切
- ・ 一時避難所にいかにみんなで安全に集まるか。誘導のマニュアル作りが必要。（そこまで辿り着いたら、専門家の判断が仰げるので）
- ・ 一時避難所ごとに専門職を登録して、あらかじめ公表すれば、自分がどの避難所にいけば良いか各自判断できるのではないか。

- ・災害時要配慮者名簿は連合自治会のほか、社協、警察、消防、民生委員が所有している。
- ・長岡京市と特別支援学校が福祉避難所の訓練を実施したところ、課題がたくさんあったと聞いている。ぜひ情報収集してほしい。
- ・災害時要配慮者名簿は、支援者の名前が抜けてるものが多く、両隣に登録してもらえる工夫がいると思う。

②福祉のまちづくりについて

- ・手話条例をどこまで徹底するのか。日頃使う必要がない方が挨拶だけでなくコミュニケーションレベルまで到達するのは難しい。避難所等では文字情報も大事。色んな情報に字幕をつけるということを徹底してほしい。

③虐待防止の推進について

- ・児童相談所や市町村の動きをカバーできる仕組みがあればいいと思う。

④その他

- ・広報誌がきれいになってよかった。良い取組でも、市民に伝わらないと意味がないので、周知啓発に力をいれてほしい。

2

(3) その他

【各課課題の紹介】

- ・子育て支援課…児童虐待について、体制が非常に厳しい
- ・高齢介護課…高齢者の見守り体制構築をどのように広めていくか
- ・健康推進課…地域の中でのつながり作りを、保健事業でも考えている
- ・障がい者支援課…手話の普及について、市内で機運を高めていく方法
- ・地域福祉課…地域力活性化の仕組み作りの方策について

【助言】

- ・病院の総合窓口にあたるものが市役所にもあるといい。
- ・こども問題、ひきこもり、家庭内暴力、認知症等福祉相談は色々あるが、共通しているのは笑顔で優しく 100%受け入れることが大切と考える。

3 閉 会

植田委員挨拶

- ・縦割りの制度で解決できないことを考えるのが地域福祉計画だと思う。
- ・意見を聞くだけでなく、しっかり仕掛けていかないといけない。
(高齢者見守りネットワーク、子どもの学習支援、こども食堂、福祉懇談会の開催等)
- ・役所の中だけで全てできるわけではないため、地域力の育成が大切と考えている (たとえば、フードバンクは向日市にない。)
- ・皆様の意見を頂いて施策推進していく、次の1年もよろしくお願いします。